

危険生物

悪者たちの真実

2016年7月21日(木)・9月4日(日)

危険生物とは「咬んだり刺したりする」「毒をもっている」「病気を運ぶ」など、人に何らかの危害を加える生き物のことをいいます。危険生物の多くは自分の身を守ったり獲物を捕まえるために毒をもったり攻撃してくるだけで、人を困らせようとしているわけではありません。私たちは見た目やイメージだけで彼らを「悪者」扱っているのではないのでしょうか？

今回の特別展では両生類・爬虫類・昆虫などの危険生物のうち、特に身近な種類にスポットを当て、その暮らしや生態系での役割、被害を防ぐ方法などを紹介します。悪者たちの真実の姿を知り、彼らをも含めた生態系の保全について考えてみましょう。

展示内容

爬虫類 (ニホンマムシ、ヤマカガシ、ミシシッピアカミミガメ)

- ・愛媛県にすむ身近な無毒ヘビと毒ヘビの凍結乾燥標本
- ・ヤマカガシとニホンマムシの生態、形態、被害事例
- ・ヤマカガシとニホンマムシの見分け方、頭骨標本
- ・ニホンマムシの攻撃行動の動画
- ・世界の毒ヘビ写真、ガボンアダー頭骨標本



両生類 (ニホンヒキガエル、アカハライモリ)

- ・レプリカ、骨格標本、生態写真

クモ (カバキコマチグモ、アシダカグモ、セアカゴケグモ)

- ・外来種セアカゴケグモの侵入状況、生息環境、アクリル封入標本
- ・毒グモに咬まれるとこうなる(被害写真)



マダニ類

- ・身近なマダニの写真、液浸・乾燥標本、愛媛のマダニ
- ・西日本で問題となっているマダニ感染症SFTSについて



その他 (ムカデ、ヤマビル)

- ・ムカデの体の構造、身近なムカデの種類、乾燥標本
- ・愛媛にはいないヤマビル、でも今後増えてくるかも？その理由は？ヤマビル被害写真

ガ (イラガ、チャドクガなど毛虫類)

- ・毒をもった身近な毛虫、毛があるけど毒のない毛虫、毛虫と成虫
- ・生態写真と凍結乾燥標本の展示、被害写真



ハエ (アシマダラブユ、イヨシロオビアブ、カ)

- ・久万高原と石鎚で問題となるブユとアブ、愛媛のカの仲間
- ・ヒトスジシマカの吸血動画

ハチ (スズメバチ、アシナガバチ)

- ・毒をもつハチともたないハチ・人を刺すハチと刺さないハチ
- ・ハチに刺された時の対処法
- ・キイロ、オオ、コガタスズメバチ、アシナガバチ類の巣の展示
- ・愛媛で見られるスズメバチの見分け方(検索表)
- ・キイロスズメバチの巣ができるまで、スズメバチのライフサイクル紹介動画

その他 (ノミ、シラミ)

- ・ノミとシラミ標本、宿主となる哺乳類の剥製

体験コーナー

カブトムシ・クワガタムシをさわってみよう!

生きたカブトムシ、ミヤマクワガタ、コクワガタなどに自由にふれることができます。

スズメバチしおり作り

入館チケットをハサミで切って、スズメバチしおりを作ろう!

昆虫と危険生物のめり絵

博物館オリジナルのかわいい昆虫と危険生物イラストのめり絵です。

特別展開連イベント

① あぶない講演会「身近な毒ヘビのはなし」

日時:8月4日(木) 18:30~20:00
 場所:久万高原町産業文化会館研修室(久万高原町久万188)
 講師:三保尚志さん(一般財団法人 日本蛇族学術研究所 研究員)
 参加費:無料 定員:80人
 内容:ヘビ研究と飼育のプロがニホンマムシとヤマカガシの基礎知識や興味深い生態について解説。毒ヘビから身を守る方法、被害にあった際の対処法など、お聴き逃しなく!

② あぶない講演会「こわいけどおもしろい? マダニのはなし」

日時:8月18日(木) 18:30~20:00
 場所:久万高原町産業文化会館研修室(久万高原町久万188)
 講師:山内健生さん(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授)
 参加費:無料 定員:80人
 内容:近年、愛媛県でも複数の感染例が報告されているSFTS(マダニが媒介するウイルス感染症)の話題を中心に、マダニの基礎知識、マダニから身を守る方法、研究の裏話などを紹介します。

③ 展示解説「ここだけのあぶない生き物の話」

日時:7月30日(土)、8月7日(日)、8月21日(日) 13:00~13:30
 場所:面河山岳博物館展示室
 講師:山岳博物館学芸員
 参加費:無料 ※ただし入館料が必要

アクセス

面河山岳博物館 TEL:0892-58-2130 FAX:0892-58-2136
 ホームページ: http://www.kumakogen.jp/modules/omogo_sangaku/
 ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/omohaku582130>



生きたあぶない生き物の展示

- ニホンヒキガエル、ツチガエル、アカハライモリ ○ヤマビル
- ヒトスジシマカの成虫と幼虫 ○トビズムカデ、マダニ類

その他

- ・殺虫剤や虫除けなど危険動物から身を守るグッズ
- ・蚊帳の展示
- ・蚊の口の構造を応用した安全性の高い注射針

【車イスでの来館の方へ】

特別展は当館2階の企画展示ブースを会場としています。現在のところ、当館にはエレベーター及び階段昇降機の設置がないため、会場へは階段(24段)を利用していただく必要があります。そのため、車イスをご利用の方、ご高齢者の方には大変ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

【バス】JR松山駅から約2時間(久万にて乗り換えあり)
 ※詳しくは伊予鉄南予バス久万営業所0892-21-0018までお問い合わせください。
 【自家用車】松山ICより国道33号線を高知方面に直進50分。旧美川村御三戸交差点を面河渓谷方面に左折後直進30分、面河渓谷の入口右側。